

第8回トラック輸送における取引環境・労働時間改善
石川県地方協議会議事録

1. 日 時

平成31年3月8日（金）11:00~12:15

2. 場 所

石川県トラック会館 1階 会議室

3. 出席者

近 藤 修 司	株式会社四画面思考研究所代表取締役
林 重 毅	石川県商工会議所連合会 金沢商工会議所 企業経営アシストセンター長（代理）
橋 本 政 人	一般社団法人石川県経営者協会専務理事
永 井 宏 行	カナカン株式会社物流システム部課長
加 藤 三 明	津田駒工業株式会社社長室長（代理）
杉 浦 直 人	石川県交通運輸産業労働組合協議会議長
久 安 常 信	一般社団法人石川県トラック協会長
山 田 秀 一	北陸貨物運輸株式会社代表取締役
中 野 廣 志	日本通運株式会社金沢支店支店長
小 前 田 彰	小前田運輸株式会社取締役会長
篠 山 賢 一	厚生労働省石川労働局労働基準部長（代理）
林 伸 治	国土交通省北陸信越運輸局自動車交通部長（代理）

（オブザーバー）

神 藤 孝	北陸農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長補佐
-------	--------------------------

4. 概 要

議 題

（1）「改正標準運送約款、長時間労働抑制（働き方改革）に関するフォローアップ実態

調査」について

- 北陸信越運輸局石川運輸支局 資料に基づき説明

■主な感想

・ドライバーが大変不足しており、業務改善・労働時間改善は、私どもの喫緊の課題である。運送事業者、荷主の意識のギャップについて、認知のない人への説明等を通して改善をしていきたい。【荷主団体】

(2) 「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について

- 株式会社野村総合研究所 資料に基づき説明

■主な感想

・荷主さんの、製造から出荷、出荷から営業までの横の繋がりが無い状況であり、特に着荷のご理解が乏しいという問題がある。業種により我々の思いとは違った商習慣があるようだが、荷主さんに合わせてやらざるを得ない。現状、我々の負担となっているが、その改善をお願いしていても、中々難しい状況である。【運送事業者】

・待機時間について、農産物の出荷は、前日の天候等により出荷量、出荷方面が変わる。このため、運送予定に変更が生じるなどにより待機時間が発生している状況である。【運送事業者】

・設備投資に関しては、荷主さんに、負担をどこまでご理解いただけるかが課題であり、協議がとまっている状況である。【運送事業者】

・残業時間 80 時間というのが、過労死の認定ラインとして周知されている状況で、訴訟リスクが高い。企業側では、労働者も会社も守らなくていけないことから、対応等かなり進んでおり一定の抑止力にはなっていると思う。【組合】

(3) その他

- 北陸信越運輸局自動車交通部貨物課 資料について説明